

歯を失ったらどうするのか

失われた歯を補う治療方法は、主として入れ歯、ブリッジ、インプラントの3通りです。その他の方法として、条件によって歯の移植があります。

取り外し可能な義歯による治療



いわゆる「入れ歯」で、隣の歯にフックをかけて人工の歯を装着する治療です。

メリット

- ・保険適応内の義歯は比較的安価
- ・治療回数や期間が比較的短い
- ・入れ歯の着脱が可能

デメリット

- ・取り外しや装着が面倒
- ・噛む力が弱い
- ・フックをかけた歯に負担がかかる

ブリッジによる治療



両隣の歯を削り、型をとったあとに一塊の連結した歯を入れる治療です。

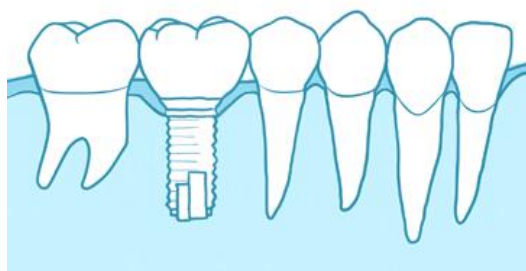
メリット

- ・ 取り外し式でなく、しっかり固定される
- ・ 比較的短期間で治療が終わる
- ・ 保険適応内であれば治療費が比較的安価
- ・ 噛む感触が自分の歯に近い

デメリット

- ・ 隣の歯を削る
- ・ 支える歯に負担がかかる
- ・ たくさんの歯がなかったり奥に支える歯が無いとできない

インプラント治療



歯が失われた部分の顎骨に人工の歯根を埋めて、それを土台にして歯をつくる治療です。

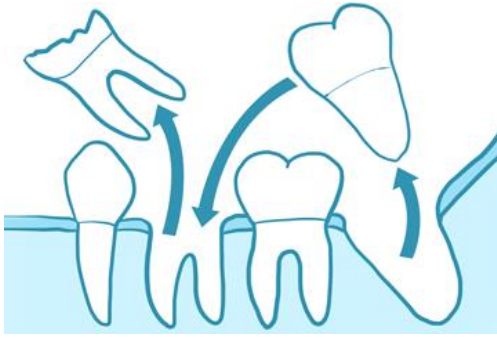
メリット

- ・ ブリッジとは異なり隣の歯を削る必要がない。
- ・ 義歯のように着脱の面倒がなく、口の中の違和感がない。
- ・ 他の残っている歯にかかる負担が少ない。

デメリット

- ・ 保険適応外のため治療費が高額
- ・ 治療期間が長め

その他の方法として、歯の移植



親知らずなど不要な歯を、歯が抜けたところに移植することがあります。

メリット

- ・自分の歯を使える

デメリット

- ・移植する歯の条件が限られている
- ・歯がうまく生着しないことがある